

4月から

危険ごみの分別収集が始まります！



ごみ焼却施設やごみ収集車両の火災を防ぐため、4月から毎月1回目の資源物の収集日に、スプレー缶類・ライター類・電池類の「危険ごみ」を無料で回収します。「危険ごみ」の出し方などをお知らせしますので、正しく出しましょう。

《詳細》環境課
☎22-1481

「危険ごみ」の種類と出し方

スプレー缶類

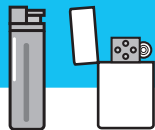
携帯用ガスボンベ、ヘアスプレー、殺虫剤、塗料など



⇒使い切って、穴を開けない

ライター類

ガスライター、オイルライター



⇒使い切る

電池類

乾電池、ボタン電池、モバイルバッテリー、製品から取り外しができる充電式電池など



⇒透明か半透明の袋に入れる

※製品から取り外しできない充電式電池(加熱式たばこなど)は回収できません。使用済み小型家電として出すか、「リサイクル協力店」に持参してください。「リサイクル協力店」は、市ホームページに掲載しています。

毎月1回目の
資源物収集日の8時までに、
資源ステーションに
設置される専用の容器
(赤色のかご)に
入れてください。

※スプレー缶類・ライター類・電池類は同じ容器に入れてください。



ぎもん解決Q&A

? スプレー缶やガス缶、ライターのガスを抜く方法は？

スプレー缶やガス缶は、使い切ったと思っていてもわずかに中身が残っている場合があります。中身が残っている場合は、製品に表示されている方法で出し切ってください。最近の製品の多くは、ガス抜きキャップなどの「中身排出機構」が装着されています。

ライターは、操作レバー(着火スイッチ)を押し下げ、着火した場合は火を吹き消し、輪ゴムやガムテープなどで固定し、ガスが抜けるまで放置してください。

※ガス抜きは、必ず風通しの良い、火の気の無い屋外で行ってください。

? スプレー缶の塗料が使い切れずに残っています。どう処理したら良いの？

スプレー缶に残っている塗料などは、新聞紙やウエスなどに噴霧し、全て出し切ってください。

噴霧した新聞紙やウエスなどは、乾燥させた上で、「燃やせるごみ」として出してください。

? 電池類は透明な袋に入れないとダメ？

ボタン電池などの小さい電池は、容器の隙間から落下する可能性があります。電池類は、中身が分かる透明か半透明の袋に入れて出してください。

? 車のバッテリーは回収するの？

車やオートバイなどのバッテリーは、市で収集できません。販売店などの専門業者にご相談ください。

? 資源物の日に出し忘れたので、今までどおり燃やせないごみの日に出しても良いの？

「危険ごみ」は、ごみ焼却施設やごみ収集車両の火災を防止するため、分別をお願いしています。燃やせないごみの日に出してはいけません。